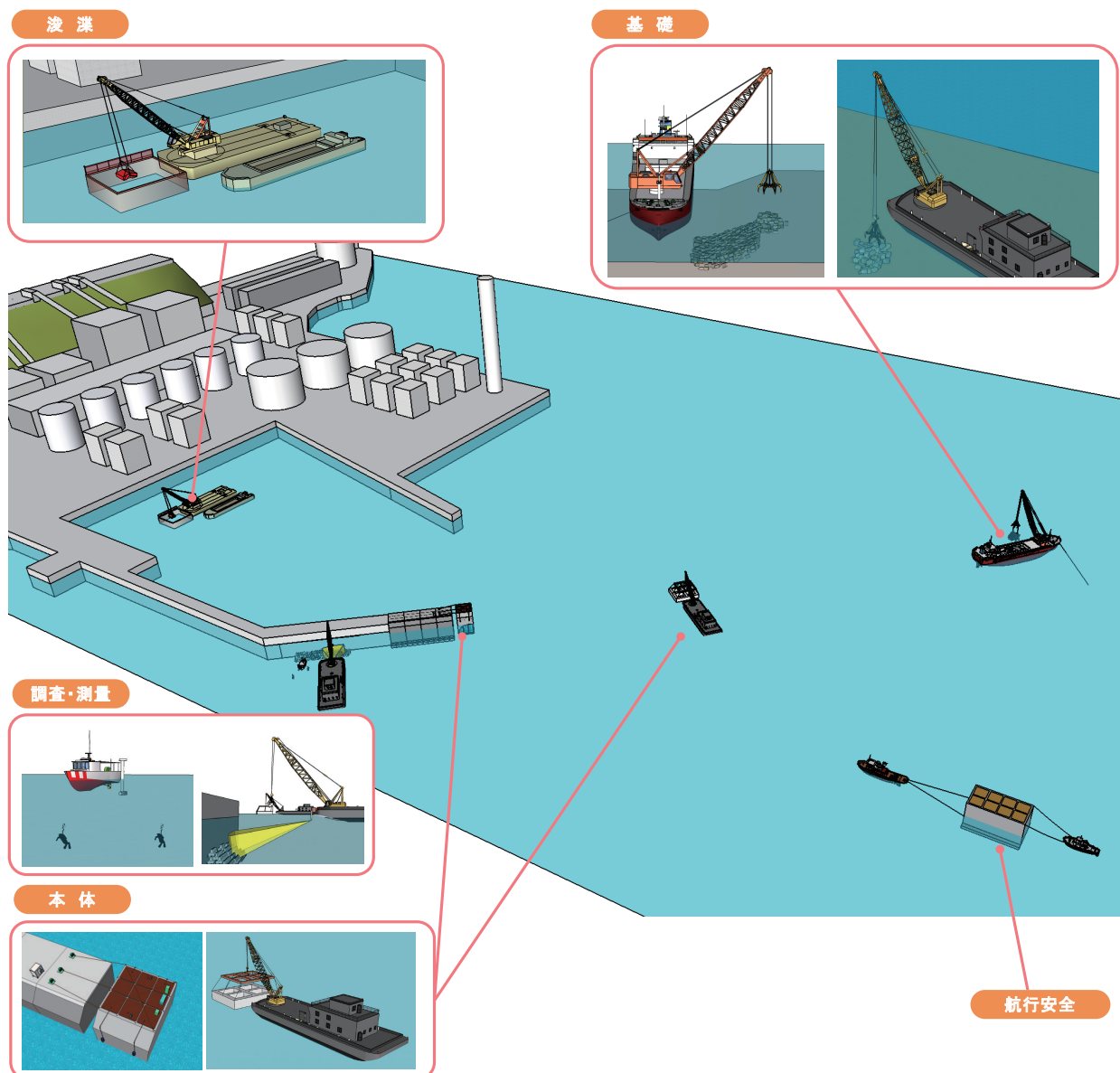


【港湾施設】

港湾工事は、陸上工事と違って、大型の作業船等を用いた海上作業や潜水士による海中作業が多く、位置出しや海底地形、海中構造物の出来形などが把握しにくい特徴がある。また、気象海象状況が稼働率に大きく影響するため、事前の施工計画と短時間での施工管理が要求される。

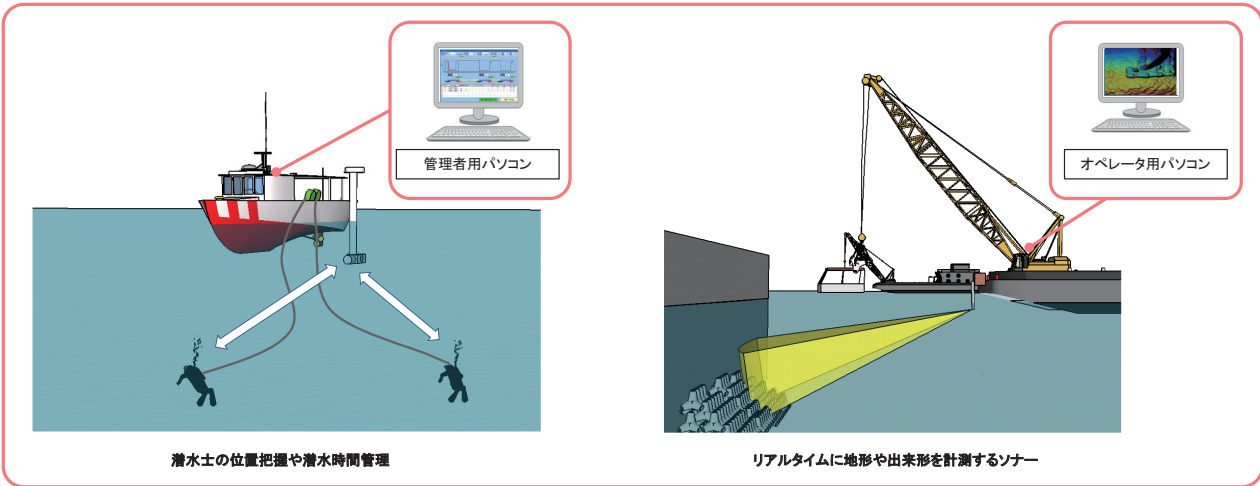
港湾・海洋工事における ICT 技術は、施工の効率化や精度向上だけでなく、作業の無人化すなわち、自動化や遠隔操作による安全性や環境保全等にも大きく貢献するツールである。

近年、各種港湾工事の効率性や精度向上を目的に、無人化や遠隔化による位置誘導システムや GNSS や ICT を装備した作業船による安全な運行管理システムなどが開発されている。測量については陸地～海上部は自動追尾式トータルステーション (TS) や、ドローンや 3D レーザースキャナーを用い、水中部はナローマルチビームなどを活用して、現況や海底地形面を三次元で精度よく見える化できる技術も普及してきている。

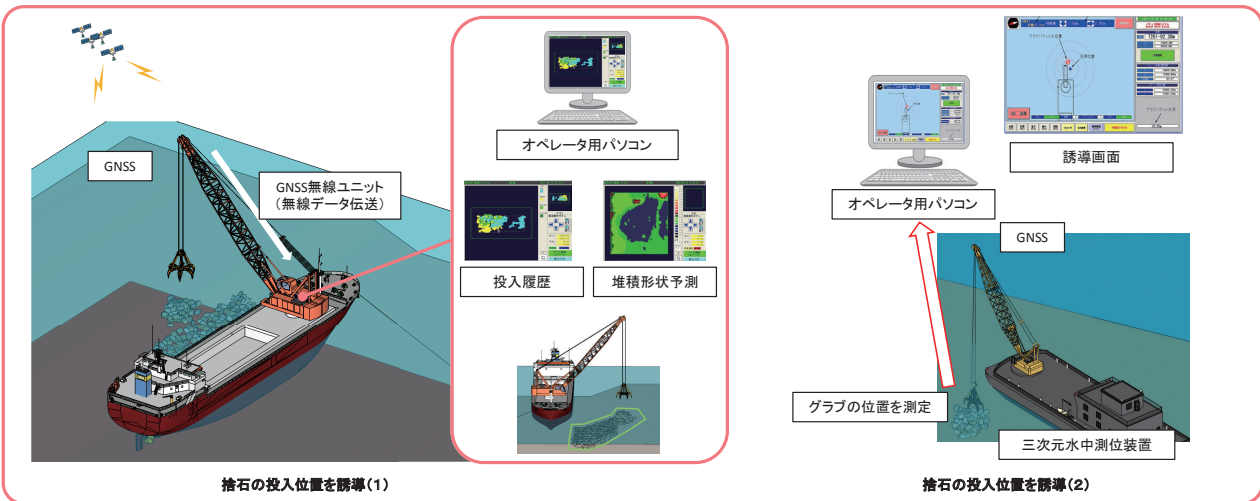


港湾施設における ICT の展開例

調査・測量



基礎



本体

